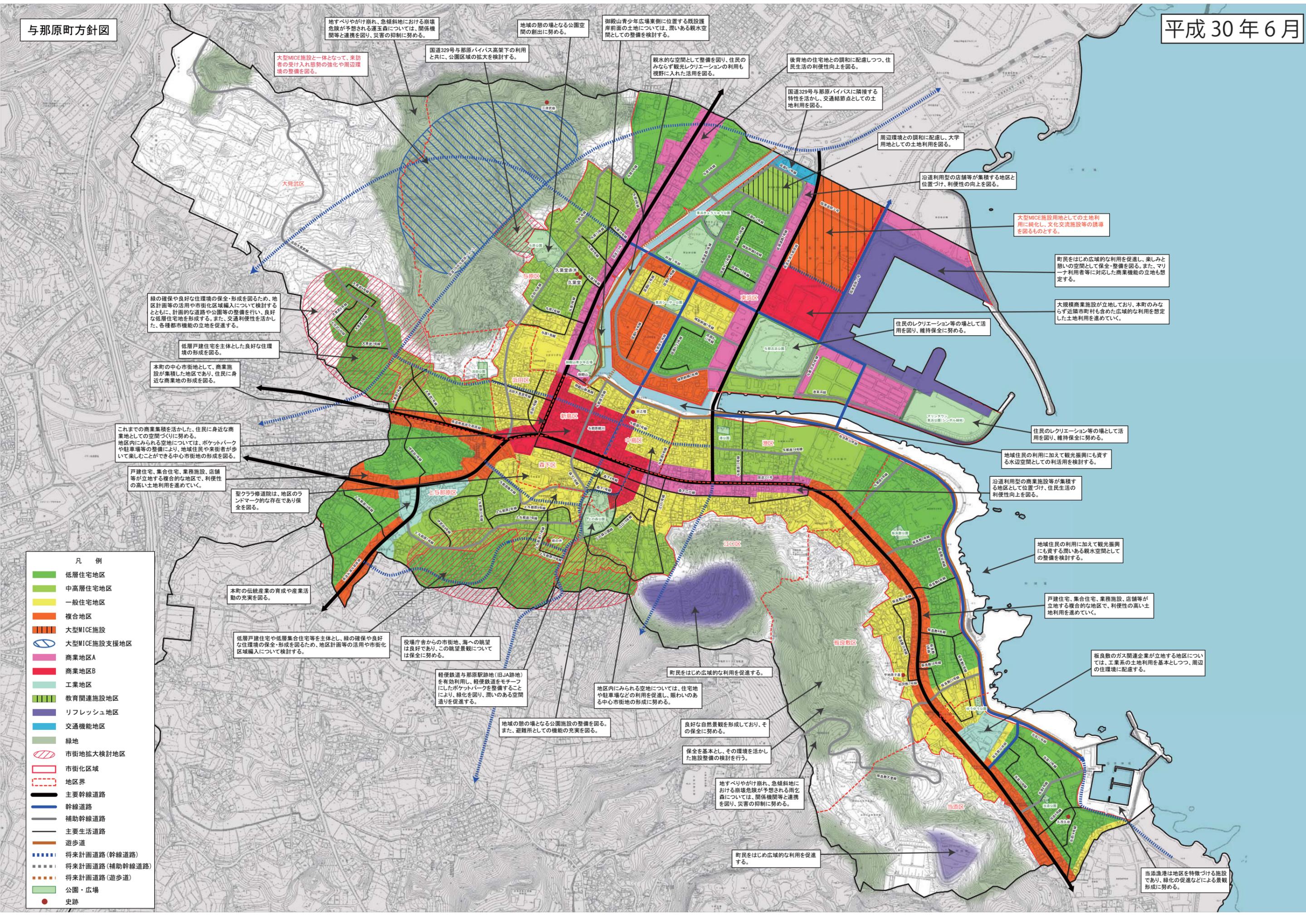


与那原町方針図



- 凡例
- 低層住宅地区
 - 中高層住宅地区
 - 一般住宅地区
 - 複合地区
 - 大型MICE施設
 - 大型MICE施設支援地区
 - 商業地区A
 - 商業地区B
 - 工業地区
 - 教育関連施設地区
 - リフレッシュ地区
 - 交通機能地区
 - 緑地
 - 市街地拡大検討地区
 - 市街化区域
 - 地区界
 - 主要幹線道路
 - 幹線道路
 - 補助幹線道路
 - 主要生活道路
 - 遊歩道
 - 将来計画道路(幹線道路)
 - 将来計画道路(補助幹線道路)
 - 将来計画道路(遊歩道)
 - 公園・広場
 - 史跡

緑の確保や良好な住環境の保全・形成を図るため、地区計画等の活用や市街化区域編入について検討するとともに、計画的な道路や公園等の整備を行い、良好な低層住宅地を形成する。また、交通利便性を活かした、各種都市機能の立地を促進する。

低層戸建住宅を主体とした良好な住環境の形成を図る。

本町の中心市街地として、商業施設が集積した地区であり、住民に身近な商業地の形成を図る。

これまでの商業集積を活かした、住民に身近な商業地としての空間づくりを図る。地区内にみられる空地については、ポケットパークや駐車場等の整備により、地域住民や来街者が歩いて楽しむことができる中心市街地の形成を図る。

戸建住宅、集合住宅、業務施設、店舗等が立地する複合的な地区で、利便性の高い土地利用を進めていく。

聖クララ修道院は、地区のランドマーク的存在であり保全を図る。

本町の伝統産業の育成や産業活動の充実を図る。

低層戸建住宅や低層集合住宅等を主体とし、緑の確保や良好な住環境の保全・形成を図るため、地区計画等の活用や市街化区域編入について検討する。

役場庁舎からの市街地、海への眺望は良好であり、この眺望景観については保全に努める。

軽便鉄道与那原駅跡地(旧JA跡地)を有効利用し、軽便鉄道をモチーフにしたポケットパークを整備することにより、緑化を図り、潤いのある空間造りを促進する。

地域の憩いの場となる公園施設の整備を図る。また、避難所としての機能の充実を図る。

良好な自然景観を形成しており、その保全に努める。

安全を基本とし、その環境を活かした施設整備の検討を行う。

地すべりやがけ崩れ、急傾斜地における崩壊危険が予想される雨乞森については、関係機関等と連携を図り、災害の抑制に努める。

町民をはじめ広域的な利用を促進する。

大型MICE施設用地としての土地利用に特化し、文化交流施設等の誘導を図るものとする。

町民をはじめ広域的な利用を促進し、楽しみと憩いの空間として保全・整備を図る。また、マリン利用者等に対応した商業機能の立地も想定する。

大規模商業施設が立地しており、本町のみならず近隣市町村も含めた広域的な利用を想定した土地利用を進めていく。

住民のレクリエーション等の場として活用を図り、維持保全に努める。

地域住民の利用に加えて観光振興にも資する水辺空間としての利活用を検討する。

沿道利用型の商業施設等が集積する地区として位置づけ、住民生活の利便性向上を図る。

地域住民の利用に加えて観光振興にも資する潤いある観水空間としての整備を検討する。

戸建住宅、集合住宅、業務施設、店舗等が立地する複合的な地区で、利便性の高い土地利用を進めていく。

坂良敷のガス関連企業が立地する地区については、工業系の土地利用を基本としつつ、周辺の住環境に配慮する。

当浜漁港は地区を特徴づける施設であり、緑化の促進などによる景観形成に努める。